

留学体験レポート

国際学部
国際文化学科
21016003
青柳 志歩

4ヵ月間韓国で留学した中で、私が体験した日本と韓国の違った部分についていくつか紹介したいと思います。

最初は地下鉄についてです。韓国はソウルの範囲以内で T-Money と呼ばれる IC カードを使えば基本は 1,250 ウォン (=125 円) で、30 分ほどかかるホンデまでは 1,450 ウォン (=145 円) で行くことができました。新潟でも 1 駅間で 150 円ほどかかるため、とても安い値段でいろんな場所に行くことができ便利であったし、驚きました。また現金で払うよりも T-Money を使用したほうが 1,000 ウォンも安く行くことができたので、T-Money は買っておくべきだと思います。そして留学前に先生からあらかじめ電車内にある優先席には若い人たちは座らずに、お年寄りや子供に席を譲ってあげるのだとおっしゃっていて、実際に地下鉄に乗って優先席を見てみたら、本当にお年寄りしか座っていませんでした。優先席が空いているときも若い人たちは座らずに立っていて、お年寄りを大切にしている国なのだと改めて実感しました。また電車で車内販売をする人、音楽を流しながら籠を持ってお金を分けてもらおうとする人、キャンディーを配る人、チラシを配って宗教勧誘をする人など日本の電車内ではない光景を見ました。このように電車で車内販売をすることは違法で良くないことなのですが、当たり前のように行っていて不思議でした。

次に韓国はカード文化だということです。韓国でよく使われているのはチェックカードと呼ばれているもので、日本ではデビットカードにあたるカードです。韓国の人たちはマートではもちろんのこと、コンビニでジュース 1 本買うのにもカードで支払っていました。日本はまだカードより現金で支払うため、私は最初来たときはちょっと戸惑いましたが、使っていくうちに慣れていき、現金よりカードの方が便利だと思いました。ですが、カードであるために現金とは違っていくら使ったのか、いくら残っているのかをすぐに確認できないため、注意して使っていかなければならないと感じました。

最後は韓国のコンビニについてです。韓国のコンビニは日本の東京にあるような他の建物と一緒にあっており、コンビニだけというのは見かけませんでした。そのため店内は広くはなく、お客様が使うトイレもありませんでした。日本には置いてある雑誌も韓国のコンビニには置いてありませんでした。そして、日本ではおにぎりなどを買うと店員さんが「温めましょうか？」と聞いてきて温めてくれるサービスがありますが、韓国のコンビニはそのようなサービスはなく、店内に置いてある電子レンジを使って買った食べ物をお客

自身が温めないといけないシステムでした。そのことを考えると日本のコンビニは親切なのだと感じました。また一番驚いたのは、コンビニで働いている人は勤務中にスマートフォンを椅子に座りながらいじっていたことです。日本でそのようなことをしていたら怒られることで、ありえないことです。それに伴って店員も1人しかいないため怒るような人もいなく、お客様に対してもそのような接客態度は失礼なのではないかと思いました。